

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 912 号	氏名	篠原 綾乃
学位審査委員	主 査	村田 比呂司	
	副 査	林 善彦	
	副 査	渡邊 郁哉	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、いわゆる CAD/CAM 冠を用いた歯冠修復を行う上で問題となるコンポジットレジンブロックの接着耐久性を、表面処理によって改善することが主目的とされている。さらに、接着機構についても明らかにすることがねらいとされており、臨床的にも基礎的にも意義のある目的と言える。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 実験に用いられているせん断接着試験は ISO 規格に準拠しており、最も信頼性の高い接着評価法の一つである。接着強さの統計解析や接着破壊様式の観察も適切に行われている。さらに、フーリエ変換赤外分光光度計 (FTIR) を用いて被着体コンポジットレジンブロックの定性分析が行われている。このように複数の方法で客観的に分析されており、研究手法は妥当と考えられる。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 接着試験の結果、メタクリル酸メチルとトリブチルボランからなる試作接着剤とシラン処理剤の併用が、コンポジットレジンブロックの接着耐久性を、既存の製品よりも著しく改善することが示されている。また FTIR 分析の結果、被着体に未重合のメタクリロイル基が検出されている。そして、接着耐久性改善のための重要な因子は、接着界面における重合の促進であると考察されている。これらの研究結果と考察内容は高く評価でき、今後の研究の展開、臨床への応用が大いに期待できる。</p>			
<p>以上のように本論文は歯科補綴学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (歯学) の学位に値するものと判断した。</p>			